

I 研究経過

1 昭和53年度の研究（研究視点の共通理解と教育内容の検討）

- ・研究テーマの方向を「積極的に社会に参加し得る人間の育成」とし、幼・小・中・高等部一貫した教育内容の精選と構造化についての研究。
- ・教育内容の視点を自立化、社会化、表現化、職業化におくことに決定。
- ・研究テーマを検討し決定。

「表現化に視点をあてた教育課程の編成」

- ・4つの視点を分野とし、各分野の視点を明確にし、分野の具体項目を検討。
- ・発達段階を6段階にわけ、段階目標を決定。
- ・分野目標、段階目標に合わせて教育内容を配列し、段階別教育内容表を完成。

各段階の目安

I 段階 0～2才 } 程度の知的、精神的発達、成熟。
VI 段階 7～8才 }

分野の具体項目（研究紀要第1集、段階別教育内容表参照）

自立化（10項目）、社会化（20項目）、表現化（12項目）、職業化（10項目）。

2 昭和54年度の研究（段階別教育内容年間配当表の作成と月別指導計画の具体化）

- ・研究テーマ

「表現化に視点をあてた教育課程の編成」

実践過程をふまえた — 社会的自立を目ざす学習指導の研究 —

- ・段階別教育内容表を実践に移すために段階別教育内容年間配当表を検討し作成。
- ・段階別教育内容年間配当表に基づいた月別指導計画を学級毎に児童・生徒の実態をふまえて作成。
- ・実践をとおして、表現化について確認したり、表現活動の過程、表現化に視点をあてた学習指導の研究に着手。
- ・11月に教育研究発表会を開催

テーマ「表現化に視点をあてた教育課程の編成」

— 学習内容の検討 —

3 本年度の取り組みと経過

(1) 本年度の研究方針

○研究テーマ「表現化に視点をあてた教育課程の編成と展開」

— 学習指導法と評価 —

○本年度の方針

・ひとりひとりの表現化を見つめて具体的実践を進めながら学習展開、指導法、手立てをくふうしていく。

・段階別教育内容表、教育内容年間配当表の検討、および月別指導計画の作成。

○研究の進め方

・共同研究を進めるなかで、各学部の特徴を十分に活かす。

(2) 研究経過

○ 5 5.4 ・研究テーマの検討、本年度の研究の取り組み・研究計画の検討。

・研究テーマの確認と共通理解。

○ 5 5.5～6 ・各学部の研究計画・取り組みの検討、個人の研究の方向の検討。

・各学部の教育目標、各学年の指導の重点の検討と調整。

・各学部の基本的立場に基づいた学部別の授業研究会の実施。

○ 5 5.7 ・各学部の教育目標、各学年の指導の重点の決定。

○ 5 5.8 ・4月以来の各学部の研究経過の報告。

・表現化についての理論研究。

・個人の研究構想の検討。

○ 5 5.9～11 ・各学部の基本的立場の検討と共通理解。

・学習指導法、手立て等についての検討。

研究授業を行い授業研究会も開き各学部の実践について検討。

小学部 自立化と表現化のかかわり

中学部 社会化と表現化のかかわり

高等部 職業化と表現化のかかわり

以上初年度からの研究をふまえて研究経過を述べてきたが、一昨年は学習内容、昨年から本年度にかけて学習指導について検討してきた。表現化に視点をあてた指導法の構想について、つぎに述べることにする。